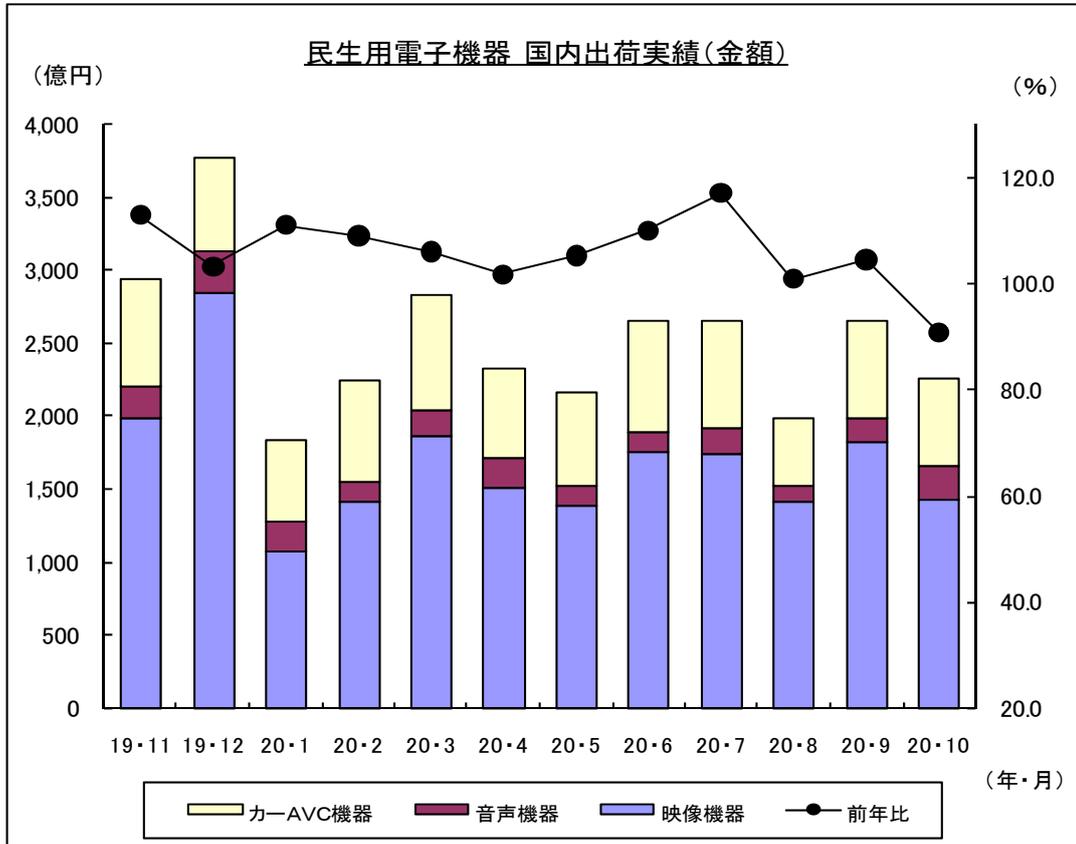


# JEITA

## 全 体 の 動 向



単位：億円、下段斜体字は前年同月比 (%)

	19・11	19・12	20・1	20・2	20・3	20・4	20・5	20・6	20・7	20・8	20・9	20・10
映像機器	1,986	2,846	1,069	1,413	1,865	1,509	1,385	1,745	1,739	1,401	1,821	1,425
	<i>114.7</i>	<i>103.6</i>	<i>109.8</i>	<i>108.8</i>	<i>108.9</i>	<i>101.3</i>	<i>107.0</i>	<i>112.2</i>	<i>119.4</i>	<i>106.3</i>	<i>108.2</i>	<i>91.3</i>
音声機器	209	284	198	135	177	198	138	146	179	109	167	223
	<i>113.9</i>	<i>94.8</i>	<i>112.2</i>	<i>103.1</i>	<i>96.4</i>	<i>98.2</i>	<i>93.8</i>	<i>104.6</i>	<i>120.4</i>	<i>99.5</i>	<i>85.8</i>	<i>94.1</i>
カーAVC 機器	749	641	563	700	795	614	633	757	728	470	659	611
	<i>108.1</i>	<i>105.6</i>	<i>112.8</i>	<i>110.5</i>	<i>101.7</i>	<i>104.2</i>	<i>104.4</i>	<i>106.6</i>	<i>111.3</i>	<i>88.0</i>	<i>100.4</i>	<i>88.7</i>
計	2,945	3,771	1,830	2,248	2,837	2,321	2,155	2,648	2,646	1,980	2,647	2,259
	<i>112.9</i>	<i>103.2</i>	<i>111.0</i>	<i>109.0</i>	<i>106.0</i>	<i>101.7</i>	<i>105.3</i>	<i>110.1</i>	<i>117.1</i>	<i>100.9</i>	<i>104.5</i>	<i>90.8</i>

### 10月の概況

民生用電子機器の10月出荷金額は、2,259億円、前年比90.8%と17ヶ月振りのマイナスとなった。

分野別に見ると、映像機器国内出荷金額は、1,425億円、前年比91.3%と17ヶ月振りのマイナスとなった。

音声機器国内出荷金額は、223億円、前年比前年比94.1%と3ヶ月連続のマイナスとなった。

カーAVC 機器国内出荷金額は、611億円、前年比88.7%と2ヶ月振りのマイナスとなった。

# JEITA

- 10月のカラーテレビ全体計（CRT+10型以上液晶+PDP）は712千台、前年比は96.6%となり、テレビ全体としては2008年4月以来6ヶ月ぶりの前年割れとなった。10月の構成比（台数ベース）は、CRTが1.3%、10型以上液晶が86.0%、PDPが12.7%となった。
- 10型以上液晶カラーテレビは612千台、前年比100.3%となり、前月までの高伸長から一転して伸びは鈍化した。うち、99%以上を占める16:9が605千台、同106.6%、特に37型以上は170千台、同104.1%となった。
- PDPは90千台、前年比99.2%の2005年7月以来の前年割れとなった。43型以下がPDP全体数量の8割以上を占めている。

- 10月のDVDビデオは、302千台、前年比63.5%と、7ヵ月連続の前年割れとなった。その内の半分を占めるDVD録再機が153千台、同58.4%、残りの半分を占めるDVD再生機は150千台、同69.8%と、どちらも大きく前年割れとなった。
- 次世代光ディスクレコーダ/プレーヤは167千台、前年比523.1%と、引き続き好調に推移しており、DVDビデオと次世代光ディスクを合わせた光ディスク市場の、数量で36%を占めている。また、2008年4月に統計を取り始めて以来、初めて次世代光ディスクレコーダの出荷台数が、DVDレコーダの台数を上回った。
- ビデオ一体型カメラは83千台、前年比83.4%と、3ヶ月連続の前年割れとなった。全体の6割以上を占めるハイビジョン対応機種が弱まっており、ハイビジョン非対応機種の落ち込みをカバーできなかった。

- ステレオセットは63千台、前年比83.0%と、20ヶ月連続して前年割れとなった。
- デジタルオーディオプレーヤは802千台、前年比107.5%と2ヶ月ぶりにプラスとなった。そのうちフラッシュメモリを使用するタイプは95%の763千台であった。
- HiFiスピーカシステムは40千台、前年比136.8%と、24ヶ月連続で前年プラス、20ヶ月連続の2桁成長と、依然好調を維持している。

- カーオーディオは、カーステレオ本体（カセット）が、32千台、前年比76.9%、カーCDプレーヤが530千台、前年比88.0%と前月のプラスから大幅なマイナスになった。カーステレオとカーCDプレーヤの合計は562千台、前年比87.3%であった。
- カーカラーテレビは95千台、前年比93.7%と3ヶ月連続のマイナスとなった。カーDVDは28千台、同93.1%と27ヶ月連続のプラスからマイナスに転じた。
- カーナビゲーションシステムは377千台、前年比98.5%とマイナスになった。10月のソース別構成比は、CD/DVD-ROMタイプが23.7%、HDDタイプ（その他）が76.3%であった。
- ETC車載ユニットは320千台、前年比101.6%のプラスとなった。